

V. 永久方形区の設定と位置

東京電力㈱の広野発電所構内及び周辺 30km 圏を対象として、30ヶ所に正方形または長方形の固定調査枠（永久方形区）が設定されている。各調査枠は、以下に示される条件によって調査対象地点が選定された。

- (1) 調査枠内の立地条件がほぼ均質である。
- (2) 生育している植物群落の相観，群落構造が均一である。
- (3) 定期的な人間活動の影響を受けていない。
- (4) 調査枠は，広野発電所を中心とする 30km 圏内に広く設定する。
- (5) 生育している植生は，自然植生から代償植生まで，森林植生から草本植生まで各タイプを選定する。

また，設定された調査枠が広野発電所を中心に引かれた 30km の放射線上にほぼ位置するように配置されている。すなわち，発電所構内に 4 地点，発電所から北の方向に HPQ—5，HPQ—6，HPQ—7，HPQ—8（調査中断），HPQ—9（調査中断）の 4 地点，北北西の方向に HPQ—10，HPQ—11，HPQ—12，HPQ—13，HPQ—14，HPQ—15 の 6 地点，西北西の方向に HPQ—16，HPQ—17，HPQ—18 の 3 地点，西の方向に HPQ—19，HPQ—29，HPQ—21 の 3 地点，西南西の方向に HPQ—23，HPQ—24，HPQ—25，HPQ—26 の 4 地点，南西南の方向に HPQ—22 の 1 地点，南の方向に HPQ—27，HPQ—28，HPQ—29，HPQ—30 の 4 地点，計 30 地点が設けられている。調査の対象として選定された調査枠の植生は，イヌブナ—モミの自然林（アワブキ—イヌブナ群落，イヌブナ—モミ群落），ケヤキ—シデ林（アブラチャン—ケヤキ群集，アワブキ—クマシデ群落，カスミザクラ—イヌシデ群落，カスミザクラ—ミズギ群落），コナラの二次林（カスミザクラ—コナラ群落），クロマツ—アカマツ植林（一部マサキ—トベラ群集），スギ植林，カラマツ植林，二次草原（コウヤワラビ—ヨモギ群落）など，自然植生から代償植生まで多彩な植生が選ばれている。